

日本教育大学協会学長・学部長等連絡協議会を開催

日本教育大学協会（会長＝出口利定・東京学芸大学長）は、10月6日（木）、学長・学部長等連絡協議会をKKRホテル東京（東京都千代田区）において開催し、会員大学・学部の学長・学部長をはじめ関係者約90名が出席した。

冒頭、出口会長の挨拶では、文部科学省における国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議の設置、教育職員免許法の改正など、国立教員養成大学・学部を取り巻く状況は非常に動きの激しい時期を迎えているが、国の基礎となる教育を担う教員を養成するという大きな責任を、会員大学・学部と協力し果たしていきたい。喫緊の課題として、小学校における英語教育に関し、コアカリキュラム、モデルプログラムの開発等の調査研究の成果を参照し、併せて地域の教育委員会等からの要望を踏まえて、各大学・学部において英語の指導法、実践的な英語力育成プログラムを検討し、実施していただいたいと述べられた。

その後、文部科学省の説明として、山下恭徳教職員課教員免許企画室長から教育職員免許法改正と再課程認定について、および教職課程コアカリキュラムの検討状況について、西川和孝教育課程課教育課程企画室専門員から学習指導要領改訂の動向について、田中諭特別支援教育課課長補佐から特別支援教育に関する平成29年度概算要求等について、圓入由美国際教育課外国語教育推進室長から英語教育に関する平成29年度概算要求等について、森次郎学生・留学生課課長補佐から大学等の留学支援制度に関する平成29年度概算要求について、柳澤好治大学振興課教員養成企画室長から国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議について、および平成28年度いじめの防止等に関する普及啓発協議会の開催について、それぞれ最新の施策説明等があり、その後、活発な意見交換が行われた。

休憩を挟み、会員大学・学部等から提案された議題である日本教育大学協会と教職大学院協会の両協会への加盟による会費負担について、昨今の大学財政の逼迫を背景に、実質的且つ重みのある意見交換が行われた。引き続き、出口会長から当日に行われた理事連絡会の報告があり、その後、各委員会等の活動報告が行われた。

夕方には同会場にて情報交換会が催され、佐野栄副会長（愛媛大学教育学部長）の開会の辞に続き、角田喜彦高等教育局大学振興課長から挨拶があり、添田佳伸議長（宮崎大学教育学部長）の音頭で乾杯となった。その後、大いに歓談し親睦を深め、首藤敏元副会長（埼玉大学教育学部附属中学校長・全国国立大学附属学校連盟理事長）の挨拶で閉会となった。



左より、出口会長、中村事務局長、首藤副会長・附属学校委員会委員長



添田議長・理事・九州地区会長



佐野副会長・四国地区会長



会場の様子



山下教員免許企画室長



西川教育課程企画室
専門員



田中特別支援教育課
課長補佐



圓入外国語教育推進
室長



森学生・留学生課
課長補佐



柳澤教員養成企画室長

<<情報交換会>>



佐野副会長・
四国地区会長



角田大学振興課長



添田理事・九州地区会長



首藤副会長・
附属学校委員会委員長